

「民族共生の象徴となる空間」とともに歩む白老町活性化・周辺環境整備事業

概要

2020年の「民族共生の象徴となる空間」開設を見据え、地域にあるさまざまな資源（自然、食、文化、ひと）を活用し、来訪者を満足させ、何度も再訪したくなる魅力的なまちづくりを進め、併せてアイヌ文化に対する理解を促進するために、平成27年4月に策定した『「民族共生の象徴となる空間」整備による白老町活性化推進基本構想』の理念に基づき、まちの魅力向上・活性化推進を図るための事業を展開する。

事業の内容

事業の内容

- ◆ 白老町活性化推進プランの策定
- ◆ 「象徴空間」コンセプトイメージ及びPR媒体の作製
- ◆ 町民、町内事業者を対象にした学習会の開催

総事業費

11.3百万円

ポイント

プランでは、官民協働により、町内外への迅速な情報発信に係る「情報推進分野」、市街地活性化による経済振興に係る「活性化推進分野」、まちづくりのための都市基盤整備に係る「基盤整備推進分野」、アイヌの歴史と多文化共生社会の理解に向けた教育実現のための「教育学習推進分野」の4分野における具体的な行動指針が示された。

事業の成果

- ◆ 官民連携のもと、本町の活性化推進を図るための行動指針となるプランが策定された。
- ◆ 学習会の開催により、今後の本町が目指すまちづくりへの理解が進んだ。
【学習会終了時実施のアンケート調査結果】
今後のまちづくりに対して理解した住民の割合 70%（目標値 60%）

北海道白老町



多文化共生のまち、しらおい

◇ 北海道 白老町 ◇

作製された
コンセプトイメージ



学習会開催の様様